

◎ 奈良・人と自然の会

＜わたしたちは大和の自然を愛します＞



- * 7月例会「山門水源の森」・自然俳句
- * インプリテーション講座「木にいっぱい不思議・・・」
- * 大募集中!! 「工作教室」・会報「新名称」
- * 「ならやまレポート」・「ごめん蜂さん!」
- * 「ビオトープ完成」観察スタッフ募集!!
- * 鳥シリーズ・癒しの散歩道
- * 8月例会「積水ハウス・樹木研修会」・他行事予定
- * 今月の表紙・ペン画によせて

1	2
	3
	4
5	6
	7
	8
9	10
	11

自然俳句欄

7月例会。「山門水源の森」観察会。

俳句愛好の新会員お二人に、ご挨拶代わりに投句して戴きました。

深妙や野花菖蒲の濃むらさき 佐藤 良子

山門の森を深妙（奥深く優れているの意）の措辞が全てを言い当てている。流石、流石の一句。

火焰茸あの関所破りとして生れる 川崎 和江

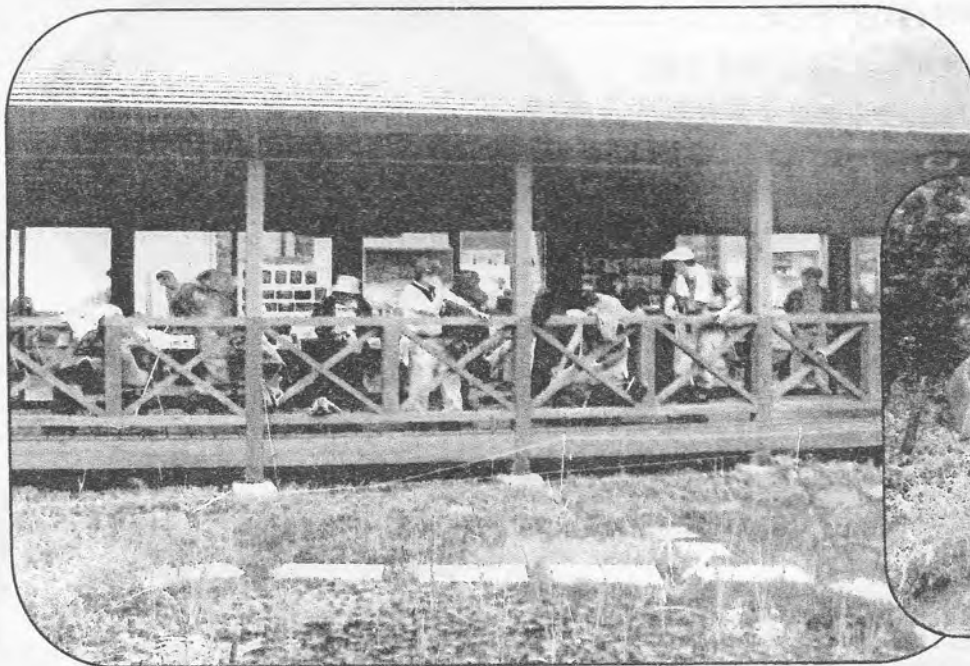
火焰茸は猛毒の持ち主。濃紅な色をして有害な胞子も散らす。正に悪役。生まれた運命の怒りの色か。

湿原に降る棒の雨梅雨地獄 秀夫

終日降りしきる雨。開き直れば、この雨もまた佳し。自然を潤す天恵の贈り物だ。

※ 俳句に興味のある方。遠慮なく投句して下さい。私宛FAXしていただければ編集部に繋がります。

川井 秀夫 FAX 0743-78-3964（毎月15日締め切り）



山の中へ
入って行きます



「山門源流」雨の中の観察会

インタープリテーション講座の実施報告

- 7月7日(水)ならやま基地周辺で第2回目のインプリ入門講座が開催されました。13名の方が参加し、シニア自然大学インプリ科3名のリーダーのもとで、インプリの進め方を学び、また参加者の実習を行いました。
- ネジキやソヨゴあるいは枯葉のゆくえやスギナなど8つのポイントの解説の仕方に加えて、スカイウオークや森の福笑いなどのネイチャーゲーム、更にはコシダのぴよんの自然遊びなどいろいろな形で自然の不思議と接し、楽しい時間を過ごしました。
- 午後の実習中に大雨に見舞われましたが、テントに戻り「鶴」の自然工作をしました。いろいろな「自分だけの鶴」ができました。
- 参加された方々の感想では「普段見慣れた木々にもいっぱい不思議があった」「対話を通じての話し方伝え方の大切さが良く分かった」「ネイチャーゲームや自然遊びが楽しかった」など好評でした。
- 今後はこうした経験を小学校の校庭の自然観察会などに活かして行きたいと思っています。



(倉田 記)

ちいきじょうほう

- ★【斑鳩より】6月25日イソヒヨドリのメスが屋根にいました。よく見ると3羽いました。またまたよく見るとイソヒヨドリのヒナでした。
- ・7月20日竜田川にゴイサギ2羽(ホシゴイ1羽)がいました。竜田川の河口にケリのヒナが6羽いました。

フィールドサイン(大和川)



アオサギとゴイサギ(竜田川)

工作教室

参加者大募集

先月号でもお知らせしましたが、工作教室を開催します。

講師として、シニア自然大学校インプリ科の石橋 晃さんにお越し、簡単にできる工作物を色々教えていただきます。工作物を通して、楽しく一日を過ごしたいと思いますので、奮ってご参加下さい。特に、工作物制作が好きな方、女性の方の参加を熱烈歓迎します。

日時 ; 8月30日(月)
9:30~15:00 ごろ

場所 ; 佐保台地域ふれあい会館
(ならやまフィールドの近くです。)

講師 ; シニア自然大学インプリ科
石橋 晃さん

工作物 ; 小学2年~4年生が、30分~40分のできる工作物

①ペンダント(昆虫たち) ②小さな置物(動物たち) ③葉っぱのアート(壁掛け) ④動きのある工作物(竹人形、簡易ヤジロベエ、デンデン太鼓などから一つ) ⑤葉っぱのお面

材料・工具 ; 必要なものはこちらで準備しますが、工具などお手持ちのものがあればご持参下さい。

持ち物 ; 弁当、飲物、お手持ち工具など

連絡先 ;
寺田 孝

まってまーす

会報誌の「新名称」募集中です！！

7月号から表紙をイラストに変更しました。いかがでしょうか。既報のように会報誌の名称も、新たにもう少し親しみやすい名称に変更することになりました。すでに広く会員の皆様から、「新名称」を公募いたしております。より多くの「新名称」を応募いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

応募要領

- ・新名称の考え方 ; 「奈良・人と自然の会」のイメージを簡潔に表し、親しみやすい名称であること。
- ・締切日 ; 8月20日(金)
- ・応募先 ; 事務局長 寺田 孝



6月24日(木) 晴 ジャガイモ祭り 参加者39人

- ・生育不良と雨で2度も延期されたジャガイモ祭りでしたが、3度目の正直は梅雨の晴れ間の上々の天気となりました。12時パーティ開始。採れとれのジャガイモ、ならやま産の玉ねぎと人参をたっぷり使った野菜カレー、ご飯はならやまの赤米入りご飯と、ならやまの自然の恵みを頂く気分。ダッチオーブンで豪快に焼いたジャガイモも添えられて、少々アルコールでも良い雰囲気になって盛り上がっていました。
- ・ジャガイモは好評で即日完売。世話人の鈴木さんは、皆さんの声に応じて、秋ジャガを植付けると意欲満々。午後は、守口さんの案内でコ克蘭を訪ねて里山を散策。花は始めてみた人も多く、その可憐な姿に感心していました。

7月1日(木) 曇り 環境クリーンアップ・デー 参加者28名

- ・全員一斉で周辺の草刈。水路沿いやA地区の林の笹を刈取り整備しました。A地区には栗の木が多く、この秋には林床で栗拾いを楽しめることでしょう。
- ・午後は里山の整備。蒸し暑い中での作業は思いのほか体力が消耗したようです。ついつい過度の作業になって熱中症に罹らないよう、互いに注意し合ひましょう。

7月8日(木) 晴 佐保台小学校田圃観察 C地区植栽 参加者50名

- ・佐保台小学校の児童16名が田圃観察。5月に3本づつ植えた苗が、どのように育っているかを調べたり、田圃の生き物を観察したりしました。七夕には1日遅れですが、自分の願い事を短冊に書きならやまの七夕飾りに付けていました。
- ・新入会員の方も、ならやまの活動にすっかり慣れたようです。おかげで、草刈り、農園作業、里山整備など、各グループとも計画通り着実なペースで進められています。

7月12日(月) 野鳥調査 参加者3名

7月15日(木) 雨 県担当者とE地区の境界立会 参加者19名

- ・天気は予報より悪化し、強い雨となりましたが、県の担当者と孟宗竹林の境界の確認をしました。また24日のイベントに備えて、担当割り当てを行い、併せて観察路周辺の危険物の点検・除去を行いました。参加の皆さん、雨の中ご苦労様でした。

7月17日(土) 晴 ビオトープ生物調査 参加者13名

- ・ビオトープの生物に関してシニア自然大学水生生物科にご協力いただいて、本格的な定量調査を実施しました。長い間湿地として残っていた場所だけに、思いのほか多種の水生動物が観察され、かなりの手応えがあったようでした。また、植物では、ヌマトラノオや、絶滅危惧種Ⅱのミズオオパコが多数みられて、植物担当のメンバーは興奮気味でした。今後の調査が進むにつれて、まだまだ新しい発見があることでしょう。同好の士のご参加を募集しております。(関連記事 別掲)
- ・笹藪跡地のヒマワリが、順調に育っています。7月下旬に一斉に咲き揃う予定です。一度、ぜひご覧ください。

(古川祐司 記)

ならやま里山林自然観察レポート

ならやま里山林花だより

守口 京子

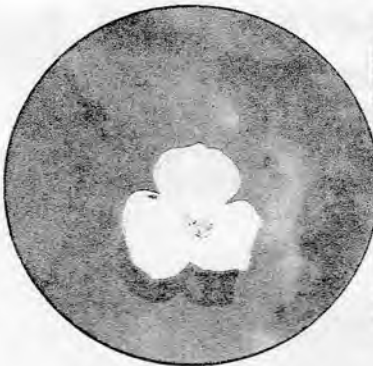
7月17日(土) 真夏の日差しが照り付け、草も木も燃えるように育っています。トンボ、セミ、チョウなど虫たちも活発に活動しています。

花壇…ヒマワリ、タチアオイ、フジウツギ、アジサイ、ウマノスズクサ、サンジソウ、オミナエシ、キキョウ、ハギ、コムラサキ、ヒオウギスイセン、ヒャクニチソウ、グラジオラス

野山…イヌタデ、ヒメジョオン、ヤブガラシ、ギシギシ、イヌホオズキ、ヤブジラミ、トキワツユクサ、ノブドウ、シヤシャンボ、クチナシ、イソノキ、ネズミモチ、ウスノキ(赤い実)

ビオトープ…イ、ヌマトラノオ、ミズオオバコ、セリ、マコノシリヌグイ、ガマ

ウマノスズクサの花は不思議な形です。ラッパの先は黒紫色のひげ面でどんな虫に好かれるのでしょうか。



ミズオオバコ の花

ビオトープ調査

7月1日午後からは一時雨かもの予報、蒸し々の午前A地区の草刈り。汗びっしょりで太い玉切りの横たわる少し暗っぼ

い所で鎌を振っていた。と、その時“グーッ”と

太短い針が左頬を襲った。

犯人は確認できなかったが、黒っぼい何か飛んで行っ

たようだ。近くで作業していた

池田さんも「黒い蜂のようだ。」と言っておられた。すぐ常備薬を塗り、現場を見直したが、巣は見つからなかった。



「ごめん蜂さん」

竹本雅昭

後日、菊川さんにお尋ねしたところ、多分地蜂のメスだろうとのこと。とても邪魔したのかも…3~4日熱っぽく、ふっくら膨らみ、家内が「医

者へ行ったら」と優しいお言葉。

普段山中で草木を切る時は、口中で「ナンマンダブ」と時々

唱えて生命を奪うことへの恐れを持ちますが、これからは小動物にも同じ心持ちで接していこうと思った事でした。

ならやまのビオトープが完成！ 観察スタッフ募集！！

ならやまに懸案のビオトープ（池と湿地）が水田の脇に完成し、木道の整備も進んで、生き物が身近に観察できるようになりました。このビオトープにどのような生き物（動物、昆虫、植物）が住み着き、それがどのように増えてゆくかが楽しみです。

6月にシニアー自然大学のスタッフと共に予備調査したところ、ヤゴ、ミズスマシ、アメンボ、ドジョウ、オタマジャクシなど種類数にして16種でした。植物もヌマトラノオ、ミズオオバコ（絶滅危惧種Ⅱ類）など珍しい花も見つかり、今後まだまだ新しいのものが見つかる可能性があります。

これらビオトープに棲みつく生物の動向を継続して調査してみませんか。とくに昆虫は難しいと言ってしり込みされる方も多いようですが、

水棲昆虫の種類はそれほど多くありません。たぶん2～3回の調査を体験することで十分マスター出来るでしょう。月1回程度の活動で、時間的にも1～2時間もあれば十分ですのでぜひ気軽に参加してください。

また、池や湿地をそのまま自然状態で放置すると、1～2年後にはアシ、ガマ、ミゾソバ、イグサ、果てはセイダカアワダチソウに占領されてしまいます。調査は好きではないが、植生管理ならお任せという方もぜひ参加してください。

関心のある方、一度見学したいと思う方は、リーダーの塩本勝也さんまでご連絡ください。

（ 文責 木村 裕 ）





モズ

小田 久美子

まだ夏だよと云われそうですが、早ければ「キィキィ! キィキィ! キッ! キィ!」と縄張り宣言が聞こえてくる季節になりました。畑の回りで人間と仲良く暮らして来た馴染みの鳥です。肉食なので鷹のようなクチバシをしています。クリクリおめめが愛くるしいですよ。カラスに巣ごと破壊されたモズの番が、巣作りからやり直していると野鳥の会幹事メールに入っていました。ご本人に問い合わせ今抱卵中だと聞くと、夏鳥たちの子育ての季節にモズが子育てをするのは大変珍しく、今度はちゃんと巣立てるのかと気を揉んでいましたが、やはり折角再建した巣は放棄されたようです。何があったのでしょうか、もしかしたら、彼らの「子育てプログラム」がタイムオーバー



したのでしょうか。アオバズクの子育ても遅れているようです。今年は穏やかな春が短かく、暑くなったかと思ったら長い梅雨。そして夏本番。愛犬との散歩中、頭上で「ピーッ! ピーッ!!」と鋭い声がするのを見上げると、ツバメが自分よりずっと大きなカラスを追っていました。ヒナが襲われたのでしょうか。電線には子カラスたち。気候不順がどう影響するのか、お互いが厳しいサバイバル合戦の季節です。

<癒しの散歩道>

七夕のしらべ

谷川 萬太郎

時は短すぎてなおその心のときめきの夢追いかけながら 見失うまいとただひたすら心祈るだけ

たとえ東の間に光るたったひとつの青い星の光でも 可憐な短冊に込めたその願いの軌跡を追い求め

やがて日が沈み過ぎ去る夕暮れに別れを告げ 墨絵で描いたような山々のいでたちが闇に消える頃

川面に映る薄明かりに川の囁きが黒く静かにゆれて 夢伝説の祈りの星が水に漂いながら流れ行く

どこからか源氏ボタルが命の灯りともして 小さな流れ星のように飛び交う幻想のワルツを踊る

行 事 案 内

※原則：前日午後7時前のNHK天気予報で降水確率（午前）60%以上の場合は中止※

『ならやま里山林プロジェクト8・9月の予定』

このプロジェクトは三井物産環境基金の助成を受けています

場所： 奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林（JR平城山駅下車徒歩10分）
—「ならやま会館」前の道路（ならやま大通り）の南側に広がる林地—
（案内地図が入用の方は、担当幹事までご連絡下さい）

日時：8月 5日（木） 活動日
8月 9日（月） 野鳥調査（小雨決行）
8月12日（木） 活動日
8月21日（土） 活動日 シニア自然大学実習生受入
8月26日（木） 活動日
8月31日（火） 雨天予備日
9月 2日（木） 活動日
9月 9日（木） 活動日
9月13日（月） 野鳥調査（小雨決行）
9月16日（木） 活動日
9月25日（土） 活動日 会員芋掘り大会 実習生受入
9月30日（木） 雨天予備日



集合： 現地ベースキャンプ地 9時 終了予定 3時
交通： ①近鉄奈良駅 バス13乗場8：23発 高の原行（平日・土曜）
②近鉄高の原駅 バス1番乗場8：32発 JR奈良行（平日）
8：30発 JR奈良行（土曜）
①②とも佐保台西口、または平城大橋で下車 徒歩約7分

携行品など：

・弁当、飲み物、軍手（作業用具は現地にて用意）、暑さ対策にご留意ください

*環境保護のため、コップ・箸・椀などは各自でご持参下さい。

活動内容：里山整備、環境整備、笹・草刈、花木植栽等の景観形成、植生調査、椎茸

・復元した田畑での「旬の野菜・健康野菜の有機栽培」、堆肥作り、土作り

*火曜日、金曜日は「自由活動日」ですが、活動される方は下記へご連絡下さい。

☆ならやま野鳥調査～野鳥の会奈良支部・川瀬支部長のご指導による～

★日程：8月9日（月）

☆出発時間・場所：9時・ならやま駐車場 *集合時間が変わっています。

★小雨決行。判断の難しい時は担当者に問い合わせてください。中止の時は次週に。

*鳥調査も終盤、あと2カ月になりました。ふるってご参加ください。

【8月例会】 積水ハウス研究所 ガーデンツリー・樹木研修会

「自産自消」を提案される講師の 畑 明宏先生。家庭菜園を自ら取組みながら住生活研究所では『5本の樹計画』を担当される樹木医。庭木は「3本は鳥のために、2本は蝶のために…」のCMでご存知の様に生態系のネットワークを広げる試みをされ「美しい庭」から「生命が宿る庭」を实践されております。畑 先生の講演と観察会で自然との係わり、大切さ、樹木の性質等を楽しく学びましょう。

日時 : 8月24日(火) 午前8時40分 集合
集合 : 近鉄高の原駅・イオン高の原前 (改札口を出て陸橋を右方向)
・ 橿原神宮前<西大寺行急行>7:51…西大寺8:21着(乗換)8:25発…高の原8:29着
・ 難波<奈良行快急>7:50…鶴橋7:56…西大寺8:22着(乗換)↑<京都市行急行>
講師 : 積水ハウス住生活研究所 樹木医 畑 明宏 先生
演題『生態系のネットワーク』と樹木観察会 (am 9:00~12:00)
昼食 : 医食同源 薬膳レストラン「あわさい」薬膳弁当(@1200円)各自負担
午後 : 積水ハウス株式会社 『夢工場』見学会 (pm 1:00~ 3:00)
担当 : 弓場 厚次 水本 遼真

昼食はNPO法人けいはんな薬膳研究所「あわさい」の薬膳弁当を用意いたしております。
薬膳弁当準備の関係で、参加の申込みをFaxかEメールで8月10日(火)迄にお願いいたします。

申込先: 弓場厚次

9月例会 深谷の自然景観が見事な「竜鎮溪谷から室生寺へ」行きませんか

日時: 9月14日(火) 午前9時20分集合

集合場所: 近鉄室生口大野駅前 (バス停前)

*コース中、3か所徒渉します。当日の水量状況によっては、足元がぬれます。

*室生寺の拝観(境内に暖地性シダ群落)は現地解散後とします。

担当: 寺田 孝 ・ 勝田 均

*詳細は会報第104号(9月号)でお知らせします。

<9月の予定> オプション行事のご案内

東海自然歩道 山の辺の道Ⅲ(三輪から長岳寺)

東海自然歩道は三輪の大神神社から三輪山沿いに柳本・長岳寺まで、日本最古の官道と言われる「山の辺の道」を辿ります。高低差も少なく気楽にご参加ください。

日時 : 9月18日(土) 午前9時10分集合
集合 : 近鉄桜井駅 北口広場
・ 西大寺(橿原神宮前行急行)8:22…八木8:43(乗換)
・ 上本町[地下](宇治山田行急行)8:15…鶴橋8:17…八木8:52…桜井8:57着
コース : 歩程・約6km
大神神社…橿原神社…景行天皇陵…長岳寺…黒塚古墳…JR柳本駅
担当 : 板橋 宏昌 弓場 厚次

平成22年7月度幹事会議事録

日時：平成22年7月6日(火) 場所：中部公民館 司会：豊島 書記：板橋

[報告事項]

- (1) 会員数 135名、
- (2) 第8回なら・未来創造基金 助成金決定報告(阿部会長)
- (3) ならやまプロジェクト報告：6月6回の活動158名、4~6月の新会員出席14
- (4) 6月度オプション行事・東海自然歩道「鳥見公園から長谷寺へ」：29名の参加。
- (5) 7月例会「山門水源の森」研修観察会：25名(内6名新会員)参加者アンケートでは全員「良かった」。豊かな森林、ならやまをどうするか一緒に議論した。
- (6) 7月7日インタープリテーション入門講座：出前教室(佐保台小一昆虫) インプリ講座は13名(内6名が幹事)が参加予定。
- (7) 奈良県環境フェア：参加申し込み。場所は大和高田地場産業振興センター
- (8) 会報編集委員会：6月30日 12名が印刷・8名が編集会議に参加。「新名称」を募集中。8/20 締切、10月号より使用。

[討議事項]

- (1) 新ならやま地区：会としての取り組みは決定。活動日は次回幹事会で討議。
- (2) 自然工作教室：8月30日(日) 講師と受講生を募集中。

[確認事項]

- (1) 8月例会：8月24日(火) 8:40 集合・夢工場見学・樹木観察・薬膳1200円 申し込み締めきり等8月会報誌にのせる。
- (2) 9月例会：9月14日(火) 竜鎮溪谷から室生寺へ
- (3) 9月オプション行事：9月18日(土)東海自然歩道・三輪から長岳寺
- (4) 10月例会：10月11日(月) ならやま周辺の自然と文化遺跡
- (5) 10月 オプション行事： 曾爾高原 すすきの銀穂を眺めながら中太郎生へ
- (6) 11月 一泊研修：秋色のみたらい溪谷から洞川 あたらし屋に一泊日程未定
- (7) 会報の印刷日は 8/27(金) 9/29(水) 10/25(月)

<表紙のペン画によせて>

境 寛

大阪から奈良に向かう阪奈道路の平城旧跡手前左に、東大寺大仏殿を小さくしたお堂が見えます。この春からはこの道路に面して南大門が再建されました。ここが喜光寺で平成になってから見違えるように立派なお寺に復興されました。この喜光寺はご承知の通り行基菩薩終焉の地とされています。また本堂は東大寺大仏殿を建立する時に参考にしたと伝えられ「試みの大仏殿」と呼ばれています。最近ではハスのお寺としても有名です。喜光寺住職山田法胤氏、本田隆光氏の皆様によってハスの手入れをされ現在100種200鉢の花蓮が境内を覆っています。今が見頃です。ぜひ阿弥陀如来様を拝まれ、庭のハス、石仏、南大門を巡ってみてください。

編集後記：*会報発送作業・編集会議日：9月号の作業は8月27日(金)午前9時から「西奈良ボランティアセンター」で行います。作業後編集会議にもご参加を！

編集担当：勝田 均

TEL&FAX：

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 阿部 和生